平成29年度高田中学校通信 No.5

夢(目標)とあこがれ

「地域に開かれた魅力ある学校」

平成29年9月1日(金)発行 発行責任者:校長 武藤 成也



充実の第2学期、スタートしました!

35日間の夏休みが終了し、元気に第2学期をスタートすることができました。

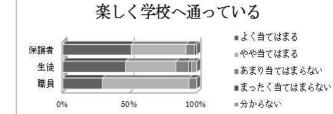
2学期は、対外的な行事や高中祭などの校内行事も多く、充実した学期となります。高中生として誇りを持 って各種活動に取り組むよう支援して参ります。よろしくお願いします。

学校評価の結果から

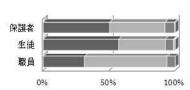
第1学期末にお忙しい中アンケートに協力をいただきありがとうございました。評価結果をお知らせするとと もに、評価の結果から第2学期に取り組む内容についてお知らせします。

学校評価結果の概要

<肯定的な評価が多かった主な項目>



あいさつ・返事の励行



- ■よく当てはまる
- ■やや当てはまる
- ■あまり当てはまらない
- ■まったく当てはまらない
- ■分からない

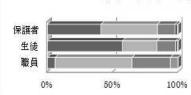
- ルールの遵守 保護者 生徒
 - ■よく当てはまる
 - ■やや当てはまる
 - ■あまり当てはまらない
 - ■まったく当てはまらない
 - ■分からない
- これらの項目はいずれも肯定的な評価(保 護者・生徒・教師)が8割を超えました。
- 生徒たちの学校生活も大変落ち着いていま すので、今後一層「みさと運動」等、生活の 基盤づくりに努めます。

<今後改善が必要な項目>

職員

家庭学習の習慣化

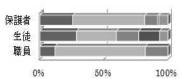
50%



- ■よく当てはまる
- ■やや当てはまる
- ■あまり当てはまらない
- ■まったく当てはまらない

職員

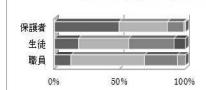
悩み事の相談



- ■よく当てはまる
- ■やや当てはまる
- ■あまり当てはまらない
- ■まったく当てはまらない

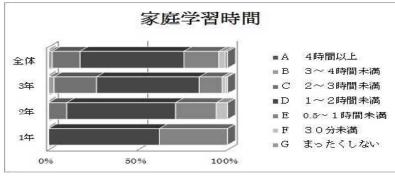
考えや意見を積極的に表現

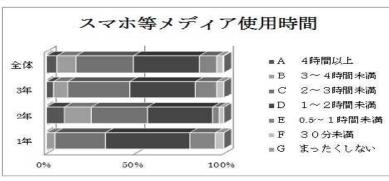
100%



- ■よく当てはまる
- ■やや当てはまる
- ■あまり当てはまらない
- ■まったく当てはまらない
- 家庭学習については、その内容の充実に向 けた支援を工夫します。
- 自分の考えや意見を積極的に述べ合える力 の育成に努めます。
- 悩み事の解決に向け、学級担任による相談 やSCや相談員の活用を更に充実させます。

<家庭学習時間とスマホ等利用時間>





- 学年が進むにつれ家庭学習時間が増えています。受験等を控え、学習内容の充実に向けた取り組みを支えてまいります。
- 特に、2学年では、メディア 使用時間が3時間を超える生徒 が24%(20名)ほど見られ ます。メディア使用時間は、家 庭学習時間とも密接に関連して いますので、各家庭と連携しな がらその改善にむけた取り組み を進めます。

2 2 学期指導の主な重点

<生活指導関係>

- 一層の自律心の育成に向け、自身の振り返りの時間を確保します。
- あきらめない心の育成に向け、各種行事等にむけた取組場面で支援を意図的に行います。

<学習指導関係>

- 自主学習(家庭学習)の仕方について授業で取り上げるとともに、よいモデルを提示します。
- 話し合う活動の充実に向け、グループ編成を工夫します。また、分かったことをノートにまとめさせるなど、まとめの時間の確保に努めます。

<道徳教育関係>

- 心からのあいさつの実行に向け「どうしてあいさつをするのか」について折に触れて考えさせます。
- 生徒の言動についてよく観察し、しっかりと認め賞賛する機会をつくります。

<心身の健康、安全関係>

- 部活動を引退した生徒が多いので、運動の習慣化に向けて、生徒の登下校等歩く時間を大切に させます。
- 生徒理解の一層の深化にむけ、生徒との面談時間の確保に努めます。

く1学年>

- 家庭学習の習慣化にむけ、個に応じた課題を工夫し、「できた喜び」を感じさせるようにします。
- 各行事、活動や道徳の時間で認め合う活動を取り入れ、思いやりのある言動を広げます。

く2学年>

- メディアコントロールの調査結果を活用し、家庭の協力を得ながら「共通のルール」の遵守にむけた取り組みを進めます。
- 家庭学習時間を確保し、受験向けの教材や自学ノートによる学習を進めます。また、ノートへのこまめな指導を継続します。

<3学年>

- 自主学習の内容が充実してきた生徒が多くなってきたため、さらに学習意欲が高まるよう、生徒の 取組への励ましを継続して行います。
- 希望する進路の実現に向け、生徒一人ひとりの状況把握に努め、家庭と連携しながら適切な助 言や指導に努めます。